

2026年6月4日  
GitHub Japan

### GitHub、AIエージェントネイティブなデスクトップ体験を提供する 「GitHub Copilotアプリ」を発表

複数のAIエージェントによる開発業務を可視化・一元管理し、開発者による品質管理と意思決定を支援

2026年6月2日（米国時間） - 米国カリフォルニア州サンフランシスコ - AIを活用したエージェント型ソフトウェア開発プラットフォームとして世界をリードするGitHubは、Microsoftの開発者向け年次イベントMicrosoft Buildにて、AIエージェントネイティブなデスクトップ体験を提供する「[GitHub Copilotアプリ](#)」について詳細を発表しました。

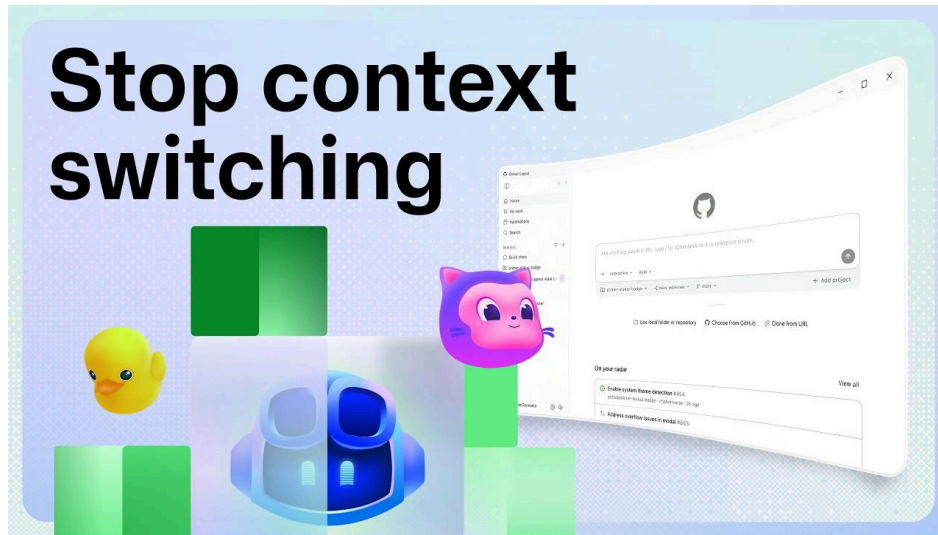


近年、AIエージェントの台頭によりソフトウェア開発は加速する一方で、ワークフローの分断、コンテキスト切り替えの増加、AIが生成したコードのレビュー時間の増大といった課題も生じています。こうした状況を受け、GitHubは開発者とAIエージェントが協調して作業できる環境の実現に向けた取り組みを進めています。

GitHubでは、AIエージェントを活用した開発ワークフローの普及に伴い、リポジトリ作成数、プルリクエストのアクティビティ、API利用量が継続的に増加しています。GitHubにおける月間コミット数は前年比でほぼ2倍となる14億件を超え、GitHub Actionsの利用時間は週20億分以上に達しています。こうした要望に応えるべく、GitHubは基盤システムの拡張とプラットフォーム全体のサービスの回復力と安定性の向上に取り組んでいます。

## GitHub Copilotアプリ: AIエージェントネイティブ開発のコントロールセンター

新しい[GitHub Copilotアプリ](#)は、GitHub上に構築されたAIエージェントネイティブなデスクトップアプリケーションです。単一の「My Work」ビューから、アクティブなセッション、Issue、プルリクエスト、バックグラウンドで実行される自動化処理などの接続されたリポジトリ全体の進行中の作業を一元的に確認できます。現在、GitHub Copilotアプリは既存のGitHub Copilot Pro、Pro+、Business、Enterpriseユーザー向けにテクニカルプレビューとして提供されています。



▶ YouTube動画: <https://youtu.be/mv6MMQ2j128>

Avanade Inc. のグローバルソリューション & デリバリー テクノロジー & デリバリーフューチャーズ部門長 兼 マスターテクノロジーアーキテクトであるDavid Jobling氏は、次のように述べています。「GitHub Copilotアプリは、私たちのビジネスを変革するGitHubのAIツール群の最新作です。AIアシスタンスを超え、このアプリはAIエージェントを活用した開発に不可欠なコントロールセンターを提供してくれています。私たちのForward Deployed Engineersは、一元管理された場所からAIエージェントの集団を展開し、複数の取り組みを管理できます。プランやオートパイロットへの容易なアクセスに加え、必要な場面ではインタラクティブなセッションを実行したり、コードに直接介入したりすることも可能です」

各AIエージェントセッションは独立したブランチのコピーであるgit worktree上で動作するため、複数のAIエージェントが並行して作業を行っても互いに干渉することなく作業できます。アプリがすべてのworktreeを管理するため、手動セットアップもクリーンアップもブランチの管理も不要です。プロンプトからでもInboxのIssueからでも始められ、GitHub Copilotは接続済みのリポジトリの既存Issue、プルリクエストから必要なコンテキストを取得し、開発作業を支援します。

また、Agent Merge機能により、プルリクエストのレビュー、チェック、マージまで一貫してサポートします。CIを監視し、必要なレビューを追跡し、失敗したチェックに対応し、すべての条件が満たされるまで待機します。開発者は、GitHub Copilotが、CIをグリーンに戻す、フィードバックに対応する、また

は条件が満たされたときにマージするといった自動化をどこまで行うべきかを選択できます。自動化の範囲と最終的なリリースの判断は、開発者が実施します。

### Canvas: 意図が検査可能な作業へと変わる場所

GitHubは、[GitHub CopilotアプリにCanvasを導入](#)しました。Canvasは、人間とAIエージェントが共同で利用する双方向の作業サーフェスであり、プラン、プルリクエスト、ブラウザセッション、ターミナル、デプロイ、ダッシュボード、ワークフローの状態などを可視化します。AIエージェントは作業の進行に応じてCanvasを更新し、開発者は同一サーフェス上で作業の確認、並べ替え、編集、承認、方針転換などを行うことができます。

これはGitHub Copilotアプリの新たなAIエージェント体験 (AX)、人間とAIエージェントが共に操作するインターフェースを提供します。チャットベースの指示や議論だけでなく、Canvas上で実際の作業内容を継続的に把握しながら開発を進めることが可能になります。

[GitHub Copilotは、ローカルおよびクラウドのサンドボックス環境を提供](#)し、AIエージェントが安全にコード実行、テスト、検証を行える隔離された環境を提供します。ローカルマシンまたはクラウドなどGitHub Copilotの実行環境を選択することで、セキュリティとエンタープライズポリシーの適用を優先しながら、ローカルリソースの制約なしにAIエージェント主導のワークフローを実現できます。



▶ YouTube動画: <https://youtu.be/J8laUDXs08c>

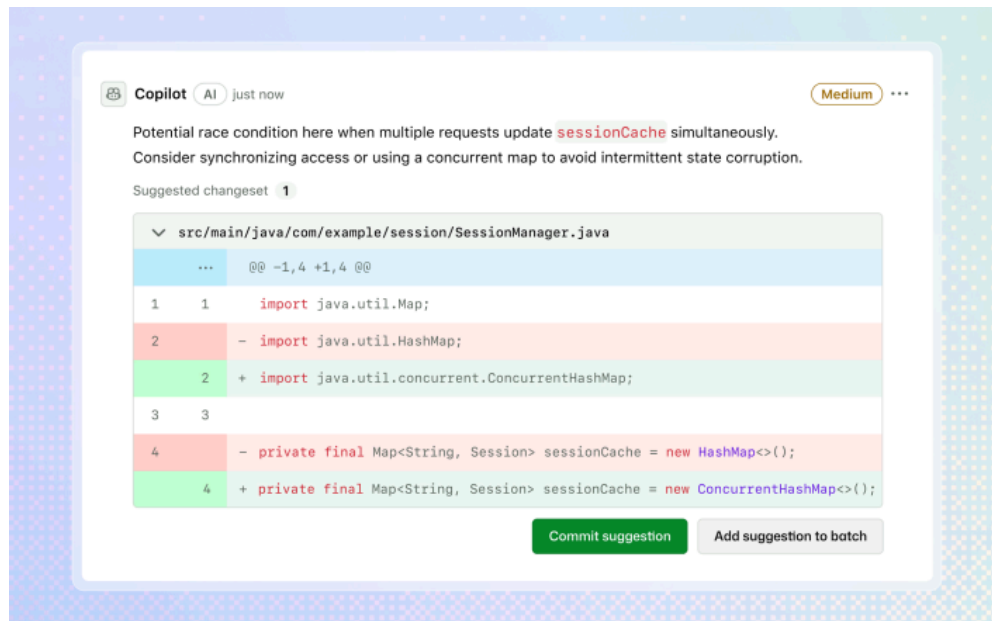
ローカルサンドボックスでは、GitHub Copilotはユーザーのマシン上にある独立した環境で直接実行されます。ファイルシステム、ネットワーク接続、システム機能へのアクセスは制限されており、ローカルサンドボックスポリシーは一元的に設定・適用できます。

クラウドでは、各サンドボックスはGitHubがホストする完全に独立した一時的なLinux環境で実行されます。Organizationは独自のポリシーを定義できます。クラウドからは、あらゆる場所、いずれのデバイスからでも、リモートコントロールでGitHub Copilotセッションを引き継ぐことができます。

### AIエージェントの出力量に対応するコードレビュー

AIエージェントによるプルリクエストの生成量増加に伴い、コードレビューへの負担も増大します。[GitHub Copilotコードレビュー](#)は適応型のAIエージェントシステムを活用してノイズをフィルタリングすることにより、GitHub Copilotがコードレビューを実施する間、開発者は最も重要な作業に集中できるようになります。

開発者は、カスタムエージェントスキル、MCPサーバー接続、設定可能なActionsワークフローを通じて、GitHub Copilotを拡張することで、すべてのレビューに独自の基準、内部システム、エンジニアリングコンテキストの反映が可能になります。



さらに、GitHub Copilotコードレビューに新たに[mediumティアレビュー](#)が追加されました。これにより、プルリクエストをより高精度な推論モデルを活用したレビューが可能となり、レビュー精度とリソースの向上を実現します。管理者はリポジトリごとに「low」または「medium」のガイドラインを設定でき、リスクの低いコードには軽量でコスト効率の高いモデルを、影響の大きいリポジトリにはより強力なモデルを割り当てることができます。

「/security-review」スキルは、セキュリティに特化した評価のための専用パスをGitHub Copilotに提供します。「/rubberduck」スキルは現在一般提供(GA)となり、複数のモデルファミリーを使用して実装を批評し、新しい問題を発見できます。

Azure DevOpsで作業している場合も、[GitHub Copilotコードレビューをネイティブに使用](#)できるようになりました。ワンクリックレビュー、インラインコメント、コミット可能な修正提案といった使い慣れた機能はそのままに、管理者は任意のリポジトリでコードレビューを有効化できます。

### GitHub Copilot SDKを一般提供: 単一ランタイムを実現

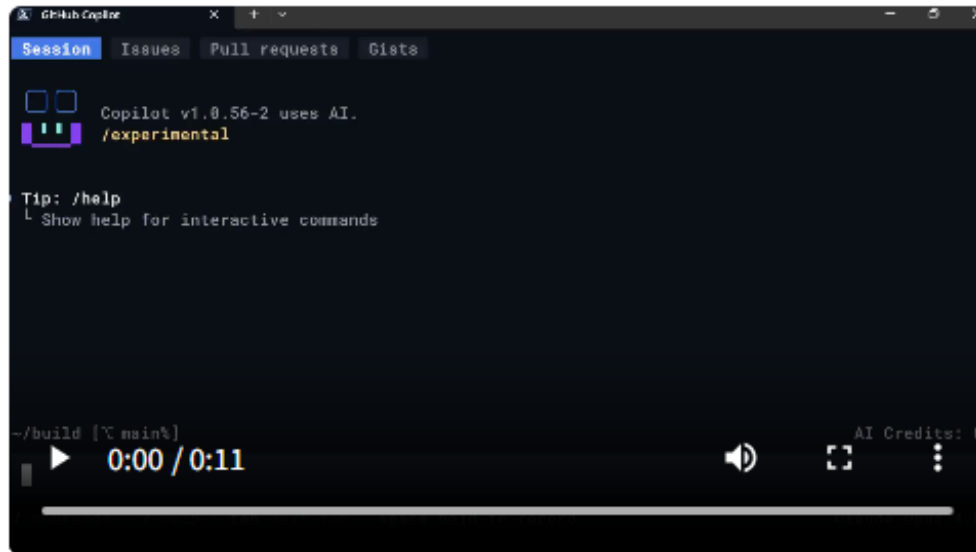
GitHubは併せて、[GitHub Copilot SDK](#)の一般提供開始を発表しました。Node.js/TypeScript、Python、Go、.NET、Rust、Javaに対応し、GitHub Copilotアプリを支えるエージェントランタイムを開

発者や企業に提供します。これにより、チームが社内コード分析ツール、カスタムリリースノートジェネレーター、またはサポートワークフローに埋め込まれたAIエージェントを必要とする場合も、独自のスタックを一から構築することなく、同一基盤上に開発できます。単一のランタイムで多様なサーフェスを提供できます。



また、ターミナルで作業することを好む開発者向けに、[GitHub Copilot CLI](#)には新設計のインターフェース、音声入力、スケジュールされたタスクが追加されました。

[GitHub Copilot CLI](#)は/`experimental`モードで再設計されたTUIを備え、ターミナルからプルリクエスト、Issue、Gistへのタブ形式のアクセスが可能です。音声モードはデバイス上の音声テキスト変換を使用するため、音声データがマシンの外に出ることはありません。「/every」は定期的なプロンプトとバックグラウンドタスクをスケジュールします。



▶ 動画は[こちら](#)から

クラウドオートメーションにより、AIエージェントはスケジュールに沿って実行し、GitHubイベントに応答し、Issueを作成し、コメントを残すことができます。デフォルトでは、クラウドエージェントは書き込みアクションのたびに許可を求めます。信頼関係が確立されたらオートパイロットに切り替えます。

エンジニアリングはコードを書くことで終わりではありません。Issueの登録、議論の開始、レビュワーへの返信も含まれます。[GitHub Copilotクラウドエージェント](#)は、それらすべてのステップを処理できます。

Memory++と/chronicleにより、GitHub Copilotはデバイスをまたいで継続性を維持します。アプリ、CLI、VS Code、またはGitHubで開始されたセッションのコンテキストをクエリできます。

パートナーが構築したAIエージェントアプリは、タスクの自動化、コード生成、コンテキスト分析、アクションの実行をサポートするためにGitHub Copilotと統合されています。開発者は、ワークフローに合った新しいAIエージェントにIssueをアサインすることで、すぐにGitHubを離れることなく、お気に入りのツールを使用できます。パートナーにはLaunchDarkly、Bright、Amplitude、Sonar、Endor Labs、Octopus Deploy、Packfiles、PagerDuty、Miroが含まれます。また、自社のAIエージェントアプリをGitHubに持ち込めるよう、ウェイトリストも用意されています。

### 今後の展望

ソフトウェア開発においては、生産性の向上とともに、品質の確保、適切な判断、検証、説明責任がこれまで以上に重要になっています。GitHubは、GitHub Copilotアプリ、サンドボックス、コードレビュー、自動化機能、コンテキスト管理機能、およびパートナーエコシステムを統合することで、AIエージェントがより多くの作業を担いながら、開発者が品質、ポリシー、リリースに関する最終的な管理責任を維持できる環境を提供します。

また、AIエージェントを活用したワークフローの拡大に伴い、GitHubプラットフォームにはさらなる拡張性、可用性、信頼性が求められています。GitHubは今後も可用性の向上を最優先事項の一つとして位置付け、

開発者やチームが日常的に安心してAIエージェントを活用できる環境の実現に向けて、継続的な機能強化と基盤投資を進めていきます。

[Microsoft Build](#)におけるGitHubの発表については、[GitHub Changelog](#)からご確認ください。

## GitHub Blog

英語:

<https://github.blog/news-insights/product-news/github-copilot-app-the-agent-native-desktop-experience/>

日本語:

<https://github.blog/jp/2026-06-04-github-copilot-app-the-agent-native-desktop-experience/>

GitHubに関する情報は、こちらからもご覧いただけます。

Press Release: <https://github.com/newsroom>

Blog: (英語) <https://github.blog> (日本語) <https://github.blog/jp>

X: (英語) @github <https://twitter.com/github>

(日本語) @GitHubJapan <https://twitter.com/githubjapan>

## 【GitHub について】

GitHubは、世界をリードするエージェント型ソフトウェア開発プラットフォームです。GitHub Copilotを搭載し、安全なソフトウェアの構築、拡張、提供を実現します。グローバル企業の総収入ランキングトップ100の『Fortune 100』に名を連ねる90%以上の企業の開発者を含む1億8,000万人以上が、GitHubを利用し素晴らしい共同作業を行っています。また、7万7,000以上の組織がGitHub Copilotを導入しています。

<https://github.com/about>

<https://github.co.jp> (日本語)

## 【製品／サービスに関するお問い合わせ先】

ギットハブ・ジャパン営業およびサポート窓口

Email: [jp-sales@github.com](mailto:jp-sales@github.com)

## 【本件に関するお問い合わせ先】

GitHub PR 事務局 (PRAP Japan)

担当: 板東、金

[GitHub@prap.co.jp](mailto:GitHub@prap.co.jp)